

日本衛星ビジネス協会は、若田光一宇宙飛行士が搭乗するソユーズ宇宙船の打ち上げの興奮冷めやらぬ 11 月 8 日(金)、総勢 44 名の参加を得て、茨城県つくば市にある独立行政法人宇宙航空研究開発機構 (JAXA) 筑波宇宙センターにて、施設見学会を開催しました。



JAXA 筑波宇宙センター

筑波宇宙センターは筑波研究学園都市の一面にあり、1972 (昭和 47) 年に開設されました。約 53 万平方メートルの敷地に、研究学園都市にふさわしい緑ゆたかな環境と最新の試験設備を備えた総合的な事業所です。

人工衛星やロケットなど将来の宇宙機の研究開発や開発試験、そして打ち上げた人工衛星を追跡管制するわが国のネットワークの拠点として重要な役割を担っています。さらに国際宇宙ステーション計画に向けた「きぼう」日本実験棟の開発や試験、宇宙飛行士の養成などを行っています。

人工衛星やロケットなど将来の宇宙機の研究開発や開発試験、そして打ち上げた

まず始めに、第一衛星利用ミッション本部 先進衛星技術開発室 上席開発員の高畑博樹様より『JAXA における通信・測位衛星の現状と将来計画』というタイトルで、ご講演いただきました。通信と測位という私たちの生活



に欠くことのできない宇宙利用インフラの構築において、これまで JAXA が開発に取り組んできた実績、今後の更なる利用推進に向けた開発の動向について、興味深いお話をうかがうことができました。



その後、有人宇宙ミッション本部事業推進部 きぼうアジア利用推進協力室 福田義也室長様のご案内により展示館「スペースドーム」を見学。間近に見る人工衛星や国際宇宙ステーションの「きぼう」日本実験棟 (JEM)、宇宙ステーション補給機 HTV「こうのとり」、基幹ロケット H-II の展示モデルは迫力満点でした。



その後、有人宇宙ミッション本部事業推進部 きぼうアジア利用推進協力室 福田義也室長様のご案内により展示館「スペースドーム」を見学。間近に見る人工衛星や国際宇宙ステーションの「きぼう」日本実験棟 (JEM)、宇宙ステーション補給機 HTV「こうのとり」、基幹ロケット H-II の





続いて、JAXA 様のご好意により特別コースとして宇宙ステーション試験棟、JEM シミュレーター、宇宙実験棟、HTV 管制室／ユーザ運用エリア、JEM 運用管制室、宇宙飛行士養成棟を見学。

普段なかなか眼にする機会が無い施設の見学であることに加え、福田様のトリビアをちりばめた説明にも引き込まれ、3時間近くにわたる長時間のツアーであることを感じさせない

充実した見学となりました。

週末で他の見学者も多数来場されている中、施設見学を受け入れていただきました JAXA 筑波宇宙センターの皆様、本当にありがとうございました。

また、施設見学、懇親会に参加いただいた会員の皆様、お疲れ様でした。次回、総会でお会いしましょう。